

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス たすく				支援プログラム（参考様式）		作成日		令和7年	3月	1日	
法人（事業所）理念		子ども達が挑戦できる環境、安心・安全な場所である「たすく」である。											
支援方針		子ども達のやる気を引き出し、様々な事へ挑戦することで成功を経験し、自信をつけていくために支援をする。											
営業時間			10時		0分から		19時		0分まで	送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・ 基本的な生活スキルを身につけられるよう日常活動において支援する。 ・ 食育を通して、食への興味関心を高め、衛生管理を意識できるように支援する。											
	運動・感覚	・ 感覚遊び、創作活動を通して五感に刺激を与えられるように支援する。 ・ ダンス活動を通して、ボディイメージを掴めるように支援をする。また、リズムに併せて動くことを意識できるように支援する。											
	認知・行動	・ ビジョントレーニング、コグトレを通して認知機能トレーニングをし見て、考えて、行動することが出来るように支援する。											
	言語コミュニケーション	・ 子ども達が自発的には自分の気持ちを発信できるように安心・安全な環境づくりをし、時には支援員が代弁をしながら気持ちの言語化が出来るように支援する。 ・ IT療育を通して様々な表現方法を身につけられるように支援する。											
	人間関係社会性	・ 集団活動、コグトレ、SSTを通して、自己理解、他者理解を深め、対人スキルを身に付けられるように支援する。 ・ 課外活動において、社会ルールを身につけられるように支援する。											
家族支援		日常生活における困りごとを共有できるように、面談などを通してご家族との交流を増やしていく。						移行支援		次のステージに向けて必要な療育を行い、子ども、ご家族の心配事に寄り添っていく。また、各関係機関と連携を取り情報の共有を図る。			
地域支援・地域連携		各関係機関と連携を取り、情報共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。						職員の質の向上		・ 療育会議、ケース会議を定期的に行う。 ・ 職員のスキル向上のための各種研修受講を促していく。			
主な行事等		保護者会（勉強会、体験会、懇親会、ペアトレなど）、社会見学会、夏祭りなど											